



東北大学と JX 金属株式会社が「組織的連携協力協定」を締結

－ 非鉄産業の振興と社会全体の発展を目指して －

平成 30 年 9 月 6 日

国立大学法人東北大学

国立大学法人東北大学（所在地：宮城県仙台市、総長：大野 英男、以下「東北大学」）と JX 金属株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大井 滋、以下「JX 金属」）は、産学連携を通して、研究開発・人材育成など相互協力が可能な分野における、持続的かつ組織的な連携協力に向けて、「組織」対「組織」の包括的な連携協定を平成 30 年 9 月 5 日（水）に調印・締結いたしました。

これまで、東北大学と JX 金属は、多くの研究者が個別の共同研究を実施し、優れた成果を上げております。本協定により、東北大学の約 400 名体制の材料科学における世界最大規模の研究者群を有する強みと JX 金属の非鉄素材産業を代表する総合力を活かし、両者がこれまで以上の連携を行うことで、社会全体の発展に寄与するべく、人材、研究成果、施設、装置など両者の強みを活かし、戦略的な研究開発と人材育成等を目指してまいります。

その第一弾として、2019 年度より JX 金属との共同研究講座を設置し、電極・配線材料イノベーションプロジェクトとして、小池淳一 東北大学教授が主導する次世代配線材料の研究を推進いたします。また、非鉄金属産業関連分野などにおける産学連携拠点の構築のため、JX 金属からのご寄附により、青葉山新キャンパス内に研究棟を整備することとしました。この研究棟は、本学が強みを有する「材料科学」の世界トップレベル研究拠点と対をなす、本学が提唱する B-U-B オープンイノベーション拠点として、非鉄金属領域の産学共同プロジェクトの実施や人材育成などを推進いたします。

※B-U-B モデル (Business-University-Business: 大学をプラットフォームとして多企業が参画するイノベーションエコシステム形成型連携モデル)

東北大学は、このたびの JX 金属との組織的連携協力協定を通じ、イノベーションを起こすことで、非鉄金属産業の振興と社会全体の発展にともに築いてまいります。



左 大野総長、右 大井代表取締役社長

■ 問い合わせ先 ■

国立大学法人東北大学

産学連携機構 総合連携推進部

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1

TEL:022-217-6034

E-mail : liaison@rpip.tohoku.ac.jp